

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

すべての園児・児童・生徒に15年間の連続した「学び」を保証するために、地域の力を活用しながら学校園の教育活動を支援する。また、学校園を核とした地域コミュニティの活性化と、地域の教育力を高めるための協働により、地域に園児・児童・生徒が活躍できる場を作ることで「自己有用感」の育成を図る。

【今年度の取組紹介】

地域合同行事としてSAKURA夢フェスタ9th.を都南中学校で開催しました。ステージでは、全盲のジャズピアニスト市川純也さんのジャズライブを聞きました。SAKURA夢スクール英会話教室の英語劇、都南中学校吹奏楽部の演奏、明治ジュニアフィットネス、都南中学校生徒有志によるダンスが行われ、校区内の子どもたちが出演することで来場者が増えました。午後は中庭で地域の各団体・企業と中学生有志による「カレー都南」の模擬店が出店されました。グラウンドでは、校区対抗大綱引き大会が行われました。前日の会場準備、当日の後片付けも中学生が中心となり地域の方々と一緒に行いました。



また、SAKURA夢フォーラム(SAKURAネットワーク夏期研修会)を南部公民館で行いました。NPO法人夢街道国際交流子ども館理事長 比嘉昇氏に講演していただきました。



中学校に設置されたコミュニティールームの運営支援として、SAKURA夢スクールを実施しました。英会話、編み物、着付けの3講座を開催し、地域からもたくさんの人たちに都南中学校に来ていただきました。

【今年度のまとめ】

今年度の取組の成果としては、SAKURA夢フェスタでの、「カレー都南」の仕込み、模擬店運営、前日準備や終了後の後片付けを地域の方々やなかまと一緒に協力して行うことができ、良い交流の場となったと思います。ステージでは、全盲のジャズピアニストのすてきな演奏を聴き、障がい者福祉についても何か感じてもらえたと思います。地域の方々からもよい感想をたくさんいただきました。SAKURA夢フェスタ、SAKURA夢スクールを通して、地域から都南中学校に来校してくださる方々が増えました。

【来年度に向けて】

子どもたちが地域の中で活動する場が増えてきているが、地域の役に立っているという実感が少ないと先生方から聞き、地域へ向けてSAKURAネットワークの活動をアピールする事と同時に、生徒・保護者にもSAKURAネットワークをより知ってもらう機会を増やし、生徒たちの自己肯定感を高めるような活動の提案をしていきたいです。

また来年度SAKURA夢フェスタが10周年を迎えます。そこで南部公民館と連携して公民館で活動している自主グループやサークルの方々に模擬店やステージ、作品展などで参加してもらって広く紹介できればと思います。そして学校園や公民館と地域の距離を縮め、つなぐ存在になりたいと思います。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

自己有用感を育成し高めることで、学習への意欲回復・基礎学力の向上と規範意識の育成につなげる。

【今年度の取組紹介】

「地域に開き、地域と共につくる学校」をテーマに様々な活動を行いました。長年にわたり地域の方々と共に作り上げてきたSAKURA夢フェスタも9回目を迎え、生徒たちは様々な場面を通して地域の方々とふれあうことで目標の一つである自己有用感を得ることができ、大きな成果があったと感じています。

校舎内外の修繕や清掃、花壇運営など学習環境を整える取組も年間を通じて行いました。生徒たちが地域に出向き街の清掃活動を行う「クリーンキャンペーン」も実施しました。

また、本校の体育大会は、「一人でも多くの地域の方々に学校を知っていただきたい」という願いから、地域との共催で行っておりその結果、実際に学校行事の運営に携わっていただくことで、学校教育や生徒理解が着実に進んでいると感じます。

図書館運営においては、継続的に地域ボランティアの方々によるご協力のおかげで読書推進活動が行われており、多くの生徒が図書館を利用しています。



SAKURA夢フェスタ
準備風景



図書館ボランティア

【今年度のまとめ】

様々な取組で生徒たちは、地域の方々との触れ合いを通じて、たくさんのお声かけをいただき、自己有用感を感じることができ、大きな成果があったと思います。

これらにおいてボランティアの方々を始め、多くの地域の方々が学校へ足を運んで下さり、「あいさつが良くなった」「手伝いもよく動いてくれる」などご意見をいただきました。

【来年度に向けて】

昨年度に引き続き、来年度も「地域に開き、地域と共につくる学校」をテーマに掲げ、事業を推進していこうと考えています。地域の人にさらに学校へ足を運んでもらう取組を継続しながら、その中で地域の方々との触れ合いを通じて、生徒たちが「自己有用感」を感じ、さらには地域の一員としての認識の向上や規範意識の醸成につながればと考えています。

めざす子ども像

- みんなで力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に生かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗を流して働くことのできる子ども

取組目標

学校と地域が連携・協働し、学習環境整備に取り組みながら、子どもたち一人ひとりに「地域の一員である」という意識を育んでいきたい。

【今年度の取組紹介】

本校の地域の方々は「子どもは地域で育てる」ということを大切にされており、今年度も学校と地域と家庭が連携・協働して事業を進めてきました。

○ 「絵本のひろば」

11月7日（水）～9日（金）までの3日間、「絵本のひろば」を図書室で開きました。会場づくりや片づけを手伝っていただいたり、休み時間も授業中も絵本を読み聞かせができるように図書室に待機していただいたりするなど、多数の地域の方々に協力していただきました。数名に読み聞かせる方や1対1で読み聞かせる方など読み聞かせ方も様々で、子どもたちは自分の好きな場所で、「読みたい・聞きたい絵本」を満喫することができました。



○ 「東市まるごと子どもフェスタ」

今年で17回目を迎えた「東市まるごとフェスタ」が10月14日（日）に開かれました。日曜参観の後、地域の方、PTA、TNP（東市日本一プロジェクト）、教職員が協働して模擬店や展示、様々な体験等を催しました。地域の方々と触れ合う機会を通して、子どもたちは自分たちの住む地域を誇りに思い、地域の一員であることを実感することができました。

【今年度のまとめ】

地域の方々の協力により地域と学校が連携・協働して様々な事業を実施することができました。上で述べた2つの事業以外にも「東市おはなしの国」や「菜の花プロジェクト」、「東市まるごと通学合宿」、学校の環境整備など多数の事業を通して子どもの学習環境を整えることができました。

最近、子どもの明るく大きな歌声や発表の音が学校の中に響くようになってきています。これは地域で子どもを育てる取組の成果が子どもの姿となって表れているといえると思います。

【来年度に向けて】

これまでの事業を大切にしながら、子ども一人一人が自立し能動的に生きる自信を育むことができるように事業を計画・実施していきたいと思えます。また、教職員と地域の方々との連携を深めることや、より多くの地域ボランティアの方々に参加していただけるようにしたいと思います。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に生かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗を流して働くことのできる子ども

取組目標

活動の中で子どもたちが地域とのつながりも感じられるような地域と密に連携した環境整備、学習支援活動等の取組の充実。

【今年度の取組紹介】

○環境整備事業

季節ごとに玄関や職員室前の廊下の飾り付けをしていただき、きれいな手作りの飾りに、みんな足を止めて見入っていました。また、年末には松の剪定もしていただきました。夏のペンキ塗りでは、地域、保護者、児童、職員が一丸となって児童昇降口のペンキ塗りをしました。

○学習支援活動事業

生活科、社会科、家庭科、総合等で協力いただき、なかでも校区探検や昔の道具体験、むかしあそび体験では、民生児童委員、万年青年クラブからたくさんの参加があり、地域や昔の道具や遊びのことに詳しく児童に教えていただきました。また、家庭科では裁縫の実習の際にボランティアの方に補助をしていただき、ミシンの使い方を優しく教えていただきました。冬の集いでは地域に伝わる千本づきを披露していただきました。



○読書力向上事業

絵本の読み聞かせボランティア「お話ドラゴン」のみなさんが毎週水曜日に朝の学習時間を使って絵本の読み聞かせをして下さりました。児童も楽しみにし、児童の読書力向上へつながってきています。



○児童の安全指導事業

毎日の登下校時に児童の見守りをしていただきました。また、1年生の給食が始まるまでは各地域ごとに分かれ、一緒に下校していただきました。

【今年度のまとめ】

今年度も地域の方々に様々な面でご協力いただきました。ペンキ塗りや職員室前廊下の飾りつけははっきりと実感できる変化でしたし、登下校時の見守り活動や校区探検の補助、家庭科の実習補助、冬の集い等においては地域の方々と触れ合いながら活動したので、児童はたくさんの地域の方々に支えていただいているということを実感できたようでした。6年生児童は地域の方への感謝の気持ちを学習発表会等で伝えました。

今年度も2月末におそうじ☆ドラゴン(旧ありがとう集会)で通学路を中心とした校区の清掃活動を行うことにより地域の方々へ感謝の気持ちを伝えました。

【来年度に向けて】

活動ボランティアが高齢化し、ボランティアを卒業される方が増えてきているという現状があります。新たな人材を発掘し、現状並みの人数を確保できるよう地域に働きかけていく必要があります。また、多くのボランティアの方に力を発揮していただき、人材を有効に活用することができるよう運営委員会を中心に活動内容や連絡体制を見直していく必要もあります。そしてより活動の活性化を図れるようボランティアの皆さんの意見を聞き、取り入れていきたいと思っております。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に生かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗を流して働くことのできる子ども

取組目標

活動の中で子どもたちが地域とのつながりも感じられるような地域と密に連携した環境整備、学習支援活動等の取組の充実

【今年度の取組紹介】

○環境整備事業

季節ごとに玄関や職員室前の廊下の飾り付けをしていただき、きれいな手作りの飾りに、みんな足を止めて見入っていました。また、年末には松の剪定もしていただきました。夏のペンキ塗りでは、地域、保護者、児童、職員が一丸となって児童昇降口のペンキ塗りをしました。

○学習支援活動事業

生活科、社会科、家庭科、総合等で協力いただき、なかでも校区探検や昔の道具体験、むかしあそび体験では、民生児童委員、万年青年クラブからたくさんの参加があり、地域や昔の道具や遊びのことに詳しく児童に教えていただきました。また、家庭科では裁縫の実習の際にボランティアの方に補助をしていただき、ミシンの使い方等を優しく教えていただきました。冬の集いでは地域に伝わる千本づきを披露していただきました。



○読書力向上事業

絵本の読み聞かせボランティア「お話ドラゴン」のみなさんが毎週水曜日に朝の学習時間を使って絵本の読み聞かせをして下さりました。児童も楽しみにし、児童の読書力向上へつながってきています。



○児童の安全指導事業

毎日の登下校時に児童の見守りをしていただきました。また、1年生の給食が始まるまでは各地域ごとに分かれ、一緒に下校していただきました。

【今年度のまとめ】

今年度も地域の方々に様々な面でご協力いただきました。ペンキ塗りや職員室前廊下の飾りつけははっきりと実感できる変化でしたし、登下校時の見守り活動や校区探検の補助、家庭科の実習補助、冬の集い等においては地域の方々と触れ合いながら活動したので、児童はたくさんの地域の方々に支えていただいているということを実感できたようでした。6年生児童は地域の方への感謝の気持ちを学習発表会等で伝えました。

今年度も2月末におそうじ☆ドラゴン(旧ありがとう集会)で通学路を中心とした校区の清掃活動を行うことにより地域の方々へ感謝の気持ちを伝えました。

【来年度に向けて】

活動ボランティアが高齢化し、ボランティアを卒業される方が増えてきているという現状があります。新たな人材を発掘し、現状並みの人数を確保できるよう地域に働きかけていく必要があります。また、多くのボランティアの方に力を発揮していただき、人材を有効に活用することができるよう運営委員会を中心に活動内容や連絡体制を見直していく必要もあります。そしてより活動の活性化を図れるようボランティアの皆さんの意見を聞き、取り入れていきたいと思っております。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

地域の教育力を活用し、継続性をもって学習環境や学習体験を豊かにしていく事業を目指す。

【今年度の取組紹介】

○ 確かな学力・豊かな心の育成をめざす取組

学力向上の目標を達成し、確かな学力に結び付けるため、地域から様々な協力を得ながら取組を進めてきました。

国語の授業力を高めるための職員研修、郷土への愛着を深めるための学習、また高い人権感覚を養うための学習会など、様々に取組を進めてきました。地域消防団と連携した防災教育、社会福祉協議会の皆さんの協力による車いす・アイマスク体験学習など、地域と共にある学校として子どもたちに豊かな心を育む取組を行いました。



○ お話の会や読み聞かせなどの取組から読書に親しむ子へ

朝のチャレンジタイムの読書タイムに加え、地域の方を講師に迎え、全児童対象の「お話の会」1年生対象の「本の読み聞かせ会」など定期的に年間を通して行ってきました。読書好きの子どもたちを育てるため、それらの機会を増やすとともに、その活動に使用する図書整備などに本事業を活用し、取組を進めていくことができました。



○ みんなで花いっぱい为学校づくり

地域の団体である万年青年クラブの方々を中心に、教職員児童が主体的に環境整備に関わってプランター栽培に取り組み、年間を通して花いっぱい、常に花の絶えない校内環境整備に取り組み続けてきました。



○ 体育や外遊びの充実から運動好きな子に

放課後子ども教室や地域の方々の運営のもと行ったミニ運動会など、地域の方々と共に楽しみながら健康・体力づくりに取り組みました。

【今年度のまとめ】

今年度も、地域の多くの方が、子どもたちに関わってくださいました。大変、精力的に活動していただいたことで、子どもたちは地域の方々に親しみを持って楽しく活動することができました。子どもたちの自尊感情を高めるために、挨拶、聞く、清掃の場面を大事にして自己効力感を持てるように取組を進めてきました。学校と地域が協力して積み重ねてきた取組の結果が、わずかではありますが、子どもたちの自信を持った行動に表れ始めています。

【来年度に向けて】

さらに、地域との連携を深め、新たな取組の創設、人材発掘に努め、今後も「地域と共に歩む学校」をめざして取組を続けたいと考えています。

めざす子ども像

- ・ みんなと力を合わせ、なかまと共に高まって行く子ども
- ・ 「学ぶ力」「生きる力」を見つけ、生活や将来に活かせる子ども
- ・ 感性豊かでたくましく自立する子ども
- ・ 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- ・ 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

豊かな心を持ち、いきいきと活動する幼児の育成

【今年度の取組紹介】

《民生さんとの交流・ランラン広場》 今年も、地域の民生さんとたくさんの交流を持ち、楽しく



過ごしました。春には、触れ合い遊び、夏には一緒にプールに入り、水しぶきをあげて遊びました。秋には、運動会に向けて旗作りをし、応援の絵やメッセージを書いてもらい、運動会当日はたくさんの方が見に来て応援してくれました。冬は、クリスマス会にご招待。生活発表会では、今まで一緒に過ごしたことを思い出しながら演技を見てくださって、一人一人の成長が素晴らしいと温かいお言葉をいただきました。そして、今年度最後の交流会では、民生さんからプレゼントとして、大型絵本や、ペープサートを使ってお話をしてもらい園児達も大喜びでした。

《合同避難訓練》



毎月の避難訓練の他に、毎年6月と1月の年2回、地域の女性防災クラブ・消防分団・保護者の皆さんと、合同の避難訓練を行っています。園の避難訓練の様子を見てもらった後、保護者に水消火器を使つての消火訓練や、女性防災クラブによる「防火レンジャー」の紙芝居・防災グッズの紹介、消防分団のミニ消防自動車の見学等行っています。みんなで、防災意識を高め、身の安全を守ることを再確認する取組です。今年は、取材も受け、新聞にも掲載されました。

【今年度のまとめ】

今年も、熱心で温かい地域の方々との連携を大切にしながら、様々な生活体験を広げることができました。その結果、何事にも意欲的になり、感謝の気持ちをもって人に接する力がついてきたように思います。そして、自分たちのことを大切に思ってくれる人たちがいるということに気づくことができました。

【来年度に向けて】

これからも温かい地域の方々に見守られながら、事業活動を保育に取り入れ「ひと・もの・こと」とのつながりにおいて、一人一人が感謝の気持ちや自分を取り巻く地域・環境を大切に思う気持ちを育み、豊かな心へとつないでいきたいと思ひます。

めざす子ども像

- ・ みんなと力を合わせ、なかまと共に高まって行く子ども
- ・ 「学ぶ力」「生きる力」を見つけ、生活や将来に活かせる子ども
- ・ 感性豊かでたくましく自立する子ども
- ・ 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- ・ 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

ひとりひとりの笑顔がかがやく辰市幼稚園

【今年度の取組紹介】

子どもたちが辰市地区で育った事を誇りに思えるような出会いと学びの場として、今年は地域に伝わる「千本づき餅つき」の伝承文化にあらためて向き合いました。事前に地域の方から保育者に餅つき歌や歌にまつわるエピソード、大正時代につくられた辰市の地名が詠まれている「辰市八景」を教えていただき、郷土学習の一端に触れさせていただきました。子どもたちは保育者を通して餅つき歌のおはやし（合いの手）の部分を覚えていき、保護者にはお迎えの時に子どもたちが歌って伝えました。当日、「千本づき餅つき」が始まると子どもたちは元気よく合いの手を入れ始め、保護者も一緒に歌ってくれました。地域の方たちの気持ちのこもった「千本づき餅つき」はみんなの心をひとつにしてくれました。



【今年度のまとめ】

昨年の「千本づき餅つき」には、参加できるところが少なく、また、歌がよくわからなかったという反省がありました。今年は、数日前から地域の方が餅つきの話をしにきてくださっていました。有難い事でした。当日、地域の方の鮮やかな手つきでまるめてくださった「つきたてのお餅」は大気度、子どもも保護者もたくさんおかわりに並びました。お餅をいただきながら、地域の方たちとのお話も弾み、どの保育室からも笑顔があふれていました。

閉園を迎える幼稚園としての最後の思い出を地域の方たちは大切にしてくださり、盛り立ててくださいました。地域の方たちに、優しさ、人を大事にする心の深さと強さをみせていただきました。いつかそのような人になりたいという憧れを子どもたちと共に実現させていきたいと思います。

【来年度に向けて】

平成31年4月から辰市こども園が開園します。保育園、幼稚園のそれぞれが大事にしてきたことや地域に根ざした文化（人・もの・こと）が伝承されていけるような取組をじっくりとつくりあげていける第1歩を踏み出していきたいと思ひます。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

地域に開かれた幼保連携型こども園をめざして

【今年度の取組紹介】

○教育支援活動『サツマイモ栽培・畑で野菜を育てよう』

5歳児 27名が、山町地域環境保全協議会にサツマイモの畑、苗・肥料などの用意をしていただき、5月28日に地域の方と一緒に植えました。苗の植え方を教えていただき大事に苗を植える子どもたちを見守ってください、戸惑っている子どもには声を掛けながら手助けしてくださいました。10月4日、大きく育ったサツマイモを4・5歳児61名が地域の方のお世話になり、自分でサツマイモを掘ることができました。11月には焼き芋パーティの準備もしていただき、焼き立てを味わう嬉しい体験となりました。



畑の先生として地域の方に来ていただき、4歳児34名の子どもたちと畑づくりや種まき・間引き等を教えていただき、キュウリ・カボチャ・大根・カブなどの野菜にふれる経験となりました。収穫の喜びと食への感謝など豊かな心の育ちと共に、水やり・虫探しなど、世話や発見をする喜びは貴重な経験となりました。



そして継続して行っている“花いっぱい運動”“生け花体験”などでは、子どもたちは地域の方とふれ合いながらいろいろなことを教えていただき、親しみを感じ、感性豊かな経験を得ることができ、大きな学びにつながっています。

【今年度のまとめ】

- サツマイモ・カブ・大根・キュウリ・カボチャなど、畑での活動をして通して、地域の方から生長や収穫の喜びなど様々なことを教えていただいたことは、学び多い経験となりました。継続して行っている“花いっぱい運動”“やきいもパーティ”“生け花体験”“太鼓を楽しもう”など地域の方の協力なしでは経験できない体験を積み重ねていくことができ、地域の方に親しみを持つなど社会や人と関わる姿は、たくさんの学びや成長につながったと思います。
- こども園の教育・保育を地域の方々にご理解していただきながら、多くの協力を得て、事業や取組が進んだと思います。

【来年度に向けて】

- 子どもたちが夢中になって遊び込み、主体的な遊びを展開できるように、地域や保護者の方の協力を得ながら、環境整備や菜園・花壇づくりに努めていきたいと思っています。また、これらの事業や活動を保護者や地域の方と共に進めていき、こども園の教育・保育への理解を更に深められるようにしていきたいと思っています。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

- ・ 地域との関わりを通し、お互い認め合い、助け合い思いやる心を育てる。
- ・ 夢中になって遊び込める環境を提供していく。
- ・ 地域の良さを生かした、豊かで多様な体験をしながら、生きる力の基礎を培う。

【今年度の取組紹介】

<和太鼓演奏>

地域の方に、バチの持ち方、良い音の出るたたき方など和太鼓演奏の指導をしていただきました。一人一人に熱心に教えていただき、体に響く太鼓の音を全身で感じ、友だちとリズムを合わせる心地よさを味わうことができました。5歳児は、リズム室での太鼓演奏や運動会でのオープニングを飾り沢山の方々にその成果を披露することもでき、自信につなげることができました。



<押し花体験>



地域の方が用意してくださった押し花を台紙の上に丁寧に並べ、しおりをつくったり、干支の亥の形をした紙の上に葉っぱを重ねてカードづくりをしたりしました。

でき上がると「きれいにできた」と嬉しそうに感想を言っていました。このような体験が豊かな感性を育てる機会となりました。

【今年度のまとめ】

子ども園として開園し2年が経ちましたが、地域の方々のご支援とご協力をいただき子どもたちの活動の幅が更に広がりました。その中でも年間を通して実施しているリズム遊び事業は、高円子ども園の特色として根づいてきています。

これらの取組は、園児の豊かな心を育むきっかけや素地となり、コミュニケーションを深めることにもつながりました。

【来年度に向けて】

子どもたちが地域の方々との交流を持ち、これからもいろいろな経験を重ねていけたらと考えています。今後も地域の方々のお力をお借りして『心身共に健康で人間性豊かなたくましく生きる幼児の育成』を目指していきたいと思います。